

市民発!  
#2

# 学生手作りの「たっぷく祭」

私は今、田原福祉専門学校に通っています。4月の入学式から3月の卒業式まで、授業や試験はもちろんです。いろいろな行事があります。今回は、10月17日、18日に開催した「たっぷく祭（学園祭）」を皆さんにご紹介します。

来年は、私たち1年生がたっぷくを引っ張って行く番です！皆さんの力を借りて、たっぷく祭などの行事を盛り上げていきます。たっぷくをこれからもよろしくお願いします。



## 後夜祭



## 学園祭



学園祭といえば模擬店！！「焼きそば」や「おだんご」などのメニューは、皆さんに好評で売り上げ絶好調。子どもたちに人気だったのは、「水風船つり」などのゲーム。手をマッサージする「手浴」は「たっぷく」ならではの。学生が着物でもてなす晴れやかな抹茶席も大盛況。たくさんのお客さんに来ていただき、とてもうれしかったです。ありがとうございました。準備から当日まではハードだったけど、その分やり終えた達成感でいっぱいです。

後夜祭では、手作りのハヤシライスなどを食べ、疲れを癒したところで、演劇や「秋葉ダンス」を鑑賞しました。疲れを忘れるくらい大盛り上がりで爆笑！！たっぷく祭を通して、地域の方々や施設の方々との触れ合いがたくさんできました♪そして、本番まで1・2年生で協力し合い、準備してきたので、これまで以上に仲が深まったと思っています。(笑顔)

広報サポーター  
カメラレポート

\*「軒花」が変身して「アートフラワー」に！



中村都祁子

今年の9月6日(土)に開催した、田原市男女共同参画フェスティバル「交流広場」へ、「軒花」(写真右)で作ったアートフラワー(写真左)を、加治町にお住まいの伊藤敬子さんが出品されました。作品の前に「祭りの花のリサイクル」と書いてあるのを見た方たちは「えーこれは、どのようにして作ったのかしら？」と、思わず手に触れてみたそうです。



「簡単にできますよ。軒花の紙をクシヤクシヤと丸めて、竹串や針金に巻き、茎に緑の紙を巻けば出来上がりです。来年は、古い花を取って、新しい花をさせば、新品です。」と、伊藤さんは語ります。「軒花」は、地域でお祭りの時に配布しますが、祭りの後、「可燃ごみ」として袋に入れるのは少しかわいそうだし、「残しておいてもどうしようもないし……結局は「可燃ごみ」行き……」になってしまいます。捨てればごみ、リサイクルすればアートフラワーなのです。